

申26号 組合員・家族の生活を守り、将来へのモチベーションの維持・向上を実現するための、2022年度賃金引上げ等に関する緊急再申し入れ

第1回交渉を行う!

赤字の責任を職場に転嫁してはいないか！
会社幹部はどれだけ身を切っているのか！

■社員1人ひとりの皆さんの増収活動、コストダウン、様々な取り組みによって赤字幅は前年度より縮小している。奮闘については感謝申し上げたい。■役員報酬は昨年5月以降10%を超える自主返納。業績連動報酬は2021年度は全くなし。コロナ前に比べ、3~4割減少している。■今の状況が良い状況とは思っていない。好循環を生み出していきたい。■様々な声があるのは受け止める。

有利子負債をベアゼロの理由にするのは間違いだ！
返済計画の甘さはないのか！

■支払い金利の額が減少しているのは事実。有利子負債の額が20年前の水準に戻った。■適切な返済をしてきた。■ベースアップは有利子負債と直結するものではない。■社員の意見として受け止める。有利子負債額が20年前と同程度に戻っている。かつ財務的に悪化しているのが事実としてある。

今こそベアを出すべきだ！

■鉄道業界は様々ある。他社と比べるより、皆さんの奮闘があって赤字幅が縮小している。■今まで出し渋っていたのではない。これまでも会社として出来る範囲で、**最大限の回答**としている。■突出感の一つの要素として勘案するものだ。■社員の皆さんからのご意見は受け止める。

回答書に3・16の福島沖地震の記載がない！
既に決まっていたのか！

■社員一丸となった復旧活動について、ご尽力について感謝申し上げる。

苦しいときにこそ賃上げを行うべきだ！

■他企業のベースアップについて、会社としてコメントするのは控えたい。当社は厳しい状況の中で、**最大限の回答**をした。■今出来る**最大限の回答**として定期昇給を実施し、その昇給係数は4として、**最大限の回答**をしている。■好循環の社員還元は賃金だけではない。出来る限りのことを、社員が安心して働くために実施している。

ベア0に対する組合員の声を受け止めるべきだ！

■様々な要素を勘案して、今回出せる**最大限の回答**をした。■様々な社員からの意見があることは受け止める。定期昇給の実施、昇給係数4と最大限の回答をしている。

「予算が余ったから欲しいものないか」と聞いている管理者について

■使い切るとは考えていない。適切に経費を考えて使っている。

JR東日本を魅力ある会社にするために現実を受け止めるべきだ！

■社員の皆さんの頑張りがあって、今の業績、会社があるので感謝している。様々なご意見があるのは受け止める。様々なことを勘案した中で、**最大限の回答**を行っている。■会社としても魅力ある会社としたい。そのような中でも、今厳しい状況で様々なご意見も受け止めるが、会社として構造改革を進めて、しっかりとそれを社員還元につなげたい。

緊急再申し入れに至った組合員の声を受け止めて頂きたい！

■厳しい状況で何もしていないということではない。コロナ禍の一時的な取扱い、または休暇や通勤手当など、出来る限りのところで最大限行っている。

本日、中央本部は申26号交渉を行いました。交渉では、17日の会社回答以降、本部に届いた6,447件にも上る組合員の声に基づき、会社と議論を行いました。交渉時間が限られていたため、継続議論となりました。

団体交渉において、「回答書の内容」や、「同じ言葉」を何度も繰り返すだけの会社姿勢は、本当に真摯と言えるだろうか。要求獲得に向けて全組合員でたたかい抜こう!!!